



見つめる先は、穏やかな海？ 明るい未来？

8月30日 西伊豆町・長泉町自然体験交流会

9月定例会・臨時会
令和6年度決算認定
一般質問
議会の動き

2～5

6～7

10～17

18～19

議会だより、定例会一般
質問動画は、西伊豆町
ホームページでもご覧に
なれます。



観光地域づくり整備事業

開催期間	9月3日から9月16日まで
審議した案件	町長提出議案 10件 報告 4件 認定 7件 請願 1件
可決した議案	令和6年度一般会計ほか6つの特別会計の決算認定、条例改正5件 損害賠償の額の決定1件、一般会計補正予算（第3号）ほか2つの特別会計 補正予算、黄金崎クリスタルパーク改修工事請負契約の締結

こんなことが、決まりました。

水道事業及び温泉事業の 剰余金処分条例を制定 (全員賛成)

水道事業会計・温泉事業会計の年度ごとに生じた剰余金は、公営企業法の定めにより処分されていましたが、上位法令の改正により町の条例を制定しました。今回制定された条例により、水道や温泉といった住民生活に欠かせない事業の経営をより健全かつ計画的に進められるようになります。

問 条例の制定前と後で運用方法は変わるのか。

答 運用はこれまでと変わりません。利益の処分は、積立金を目的外で使用する場合は議会の議決が必要となり、資本剰余金の処分については処理出来るようになります。

個人番号利用条例の一部 改正 (全員賛成)

国の制度改正に合わせて、個人番号利用条例の一部を改正しました。保有する情報を各部局で相互に利用できるようになり、事務の効率化が図られます。

職員の勤務時間・休暇に 関する条例改正 (全員賛成)

国の法改正を受け、職員の勤務時間や休暇条例を一部改正しました。妊娠や出産などの申し出をした職員に対し、制度の周知や職場での意向確認を行う規定を設けました。子や各家庭の状況に応じた個別の意向に配慮する必要があります。

職員の育児休業等に関する 条例改正 (全員賛成)

部分休業制度が拡充されました。従来は1日最大2時間までの育児時間の取得のみでしたが、新たに年間77時間30分までを取得できる制度が導入されました。子育て中の職員が必要に応じて育児時間を調整でき、より柔軟な働き方が可能となります。

問 1日2時間の部分休業は、続けて取るのか分けて取るのか。

答 部分休業は、男女とも1日につき最大2時間まで取得できます。30分単位で区切ることができ、その日の勤務時間内ならば、どの時間帯でも取得可能です。

継続へ

7年度観光地域づくり整備事業内容

◎黄金崎クリスタルパーク改修工事

6年度及び7年度の2ヵ年での工事を予定しており、本年度は、体験工房の新設を行います。

契約金額：5720万円

工事概要：ウッドデッキ施工残、ショップ棟内配置換えによる電気設備、機械設備の改修

特別職非常勤職員の報酬 等に関する条例改正 (全員賛成)

鳥獣被害対策実施隊員の報酬を、従事内容に応じて支給できるよう改正しました。実態に即した適正な報酬体系となり、害獣対策の強化につながります。

問 報酬について日当と時間当たりの表記があるが、1時間あたりとした方が分かりやすいのではないか。

答 日当に1時間につき3000円を上乗せという形で処理します。

木質バイオマス発電施設整備工事請負仮契約の解除に伴う損害賠償 (全員賛成)

木質バイオマス発電施設整備工事請負の仮契約を解除し、契約業者には6万円を賠償します。

一般会計補正予算(第3号) (全員賛成)

歳入歳出それぞれ2億101万8千円を追加し、総額を89億3430万5千円としました。

観光誘客支援事業交付金

1700万円、防災備蓄品非常食追加購入338万円、西伊豆中学校体育館スポットエアコン設置費490万円、鷹ノ巣残土処理場維持工事費300万円、特定空き家の緊急代執行2件、370万円です。

問 観光誘客支援事業で予定されているOTA(オンライン旅行代理店)クーポンの仕組みや対象範囲は。

答 観光協会に対してOTAクーポン事業として1500万円を支援し、事業の具体的な内容や詳細な運用方法は、観光協会が決定します。

問 西伊豆中学校体育館へのスポットエアコン設置だが、災害時の使用方法是。

答 今回導入するのは、大型

扇風機型のスポットエアコンで、200ボルトの電源が必要です。災害時にはレンタル発電機を活用すれば運用が可能です。

問 ガス式エアコンの導入は検討したのか。

答 耐熱処理の課題があるため導入を見送りましたが、今後も検討を続けます。

問 特定空き家の除去工事の、行政代執行に至る経過と、費用請求は。

答 今回は、行政代執行ではなく、倒壊の危険性が高いため緊急代執行として実施します。解体にかかる費用は所有者に請求します。



黄金崎クリスタルパーク体験工房新設予定地

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

(全員賛成)

歳入歳出それぞれ6005万2千円を追加し、総額を12億6805万2千円としました。子ども・子育て支援事業費補助金88万円、繰越金5917万2千円、基金積立金5917万2千円です。

後期高齢者医療特別会計補正予算第1号

(全員賛成)

歳入歳出それぞれ382万4千円を追加し、子育て支援制度対応によるシステム改

修費220万円と前年度繰越額精算分162万4千円を計上し、総額は3億4982万4千円となりました。

黄金崎クリスタルパーク改修工事請負契約の締結

(全員賛成)

黄金崎クリスタルパーク改修工事(契約額5720万円)の請負契約を議決しました。体験工房を新たな場所へ新設し、魅力を高め、来館者の増加を目指します。

問 今回の工事体験工房へのアプローチが改善されますが、これまで利用していた右側のスペースの扱いは、

今回の契約では検討されていないのでしょうか。

答 現在、指定管理者や町担当課、クリスタルパーク関係者と意見をまとめており、方針がまとまり次第情報を公開します。

問 既存工房の跡地利用はどうなるのか。

答 町と指定管理者で活用方法を検討中です。来館者の増加や滞在時間の延長を目指し、決まり次第お知らせします。

その他には緑地帯対策や消火器の設置などの質疑がありました。

第3回臨時会

令和7年7月15日

木質バイオマス発電施設整備工事請負契約締結

(賛成4:反対5)

木質バイオマス発電施設整備工事請負契約締結の否決

契約金額3億6883万円で木質バイオマス発電施設整備工事を行うものです。仁科拠点、発電設備1基と温泉配管設備改修、宇久須拠点は、

発電設備2基、木質チップ乾燥機1基、ウッドチップパー1基、高圧受電設備1台、契約方法は、制限付き一般競争入札で、相手先は青木・国本特定建設工事共同企業体です。

問 落札率の高い状態が続いており、談合や輪番制の懸念がある。入札制度や契約の手続き、チェック体制は。

答 国は歩切の禁止や低価格によるダンピング禁止をうたっており、落札率の高いことは、積算技術の向上や適切な下請け価格、成果品の品質向上に繋がるため妥当と考えます。



宇久須拠点 模擬騒音による地元説明会風景

【討論】

原案に反対 町内の森林整備は進めるべきですが、事業の運営方法に大きな懸念があり、住民の理解が得られていないことや事業の中止を求める500名を超える署名とともに、議会に請願書が提出されていることから原案に反対。

原案に賛成 原案は、3月定例会で可決された予算を執行するため速やかに請負契約を締結し、事業を進めるべきです。西伊豆町総合計画審議会の審議を経て取りまとめられたもので、木材はこれまでの実績と計画書から安定的に調達可能と判断し、原案に賛成。

社会資本整備総合交付金 事業(町)月の浦井田子線 拡幅工事請負契約締結 (全員賛成)

契約金額1億8810万円で、生活道路が狭いため河川を暗渠化し、道路を拡幅する工事を施工します。

仁科地区内道路整備工事 請負契約締結 (全員賛成)

契約金額7865万円で、施工延長248メートル、車道幅4メートルの両側に50センチメートルの路側帯と2メートルの歩道を設けた、幅7メートルの道路です。地区の方から整備要望書が提出され、工事が施工されることに

より、地域住民の利便性向上に繋がります。7年度が制度最終年度となる旧合併特例事業債を発行します。

安良里漁港浚渫工事請負 契約締結 (全員賛成)

契約金額1億1000万円で、漁港機能の保全と河川の流下能力維持を図るため、安良里漁港に堆積した土砂をグラブ船と人力で浚渫します。

問 浚渫に伴う濁りの発生とその処理方法や技術的な対策は。

答 仮置きする土砂のは、防塵シートで被覆し、土留め材の設置や排水処理を適切に行います。臭気対策は、改良処理と乾燥を行います。施工中の濁り対策は難しいと考えます。

一般会計補正予算(第2号) (全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ2415万9千円を追加し、予算総額は87億3328万7千円です。

歳入は、国庫補助金1720万円と繰入金295万円と諸収入400万9千円です。

歳出は、社会福祉費1220万円、水産事業費635万円消防費400万9千円などです。

問 交流人口拡大補助金の具体的な運用方法は。

答 大学のゼミや会社の部活動の合宿などが対象となり、町内の学校もしくは団体などとの交流活動または地域住民を対象とした文化スポーツ教室の実施、農水産業やものづくり体験などへの参加、イベント、ボランティア活動などで、地域交流事業を行う合宿を対象に助成を考えております。

問 助成金促進のPRはどのように考えているか。

答 ホームページや観光協会を通じてPRしていきたいと考えています。



旧西伊豆中学校前道路を仮設から本設へ

令和6年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計 4億1582万3675円の黒字。

歳入総額78億338万831円、歳出総額73億8755万7156円、繰越明許費（来年度に残すべき事業費）4797万7千円。財政調整基金の取り崩しはありませんでした。

一般会計 (全員賛成)

問 西伊豆町カレンダーはふるさと納税のお礼として全員に送っているのか。お礼として送る場合は町民向けと分けてお客様が集まる工夫を盛り込んだらどうか。

答 カレンダーの送付を希望しない方もいます。他には視察団体やイベント、夕陽を見られなかった宿泊客への配布などを行っています。ふるさと納税のお礼と

して送るものは内容を変えることを検討中です。

問 健康アプリ「まるけん」のサンセットコインポイント付与率が低いと思うが。

答 紙の健幸マイレージへのポイント付与とのバランスを取っています。

問 スクールバス利用事業運行業務委託料が高額だが、運転手を町で雇用することはできないのか。

答 現在の契約期間は8年度までですが、費用は試算しています。常時運転手3人

の確保が必要となるため、費用面でも効果的なのか検討を始めています。

問 財政調整基金が19億円となった。どのくらいが適正と考えているか。

答 財政調整基金は16～17億円程度あれば安心かと考えます。

問 森林整備を進めるべきと思うが、森林整備基金への積み替えは考えないのか。

答 森林整備は国と県の補助を得て木質バイオマス発電施設を建設して進める予定でしたが、中止になりましたので、財政調整基金から森林整備基金に積み替えることは考えていません。今後、公共施設の整備に相当額が必要となることが予想されますので、公共施設等総合管理基金への積み替えは必要と考えます。



スクールバスで元気に通学

国民健康保険特別会計 5917万4千円の黒字。

歳入総額11億957万4千円、歳出総額10億5040万円。

後期高齢者医療特別会計 162万5千円の黒字。

歳入総額3億4151万8千円、歳出総額3億3989万3千円。

介護保険事業特別会計 1億1776万8千円の黒字。

歳入総額13億3228万9千円、歳出総額12億1452万円。

国民健康保険特別会計
(全員賛成)

問 当町における疾患別状況では高血圧が多いが。

答 以前から賀茂地区では、高齢高血圧患者が多いと指摘されていました。本年度、管理栄養士を採用しましたので、食の面からの指導にも取り組みます。また、町内に20ヵ所ほどあるサロンにも出向いての指導を考えています。

後期高齢者医療特別会計
(全員賛成)

問 国民健康保険加入者に比べて癌患者の発生割合は少ないのか。

答 75歳を超えると循環器系患者が多いので、複数疾患を抱えていても医療機関が第一疾患として循環器系に分類している可能性があります。

介護保険事業特別会計
(全員賛成)

問 要支援者数の増加と要介護者数の減少の要因を分析しているか。

答 今年度、複数の事業対象者が要支援に移行しました。また、理学療法士による訪問リハで回復し、要介護から要支援に移行する事例も複数ありました。以上が理由と考えられます。

サンセットコイン事業特別会計	差引金額	6206万 413円
水道事業特別会計	純利益	3440万8997円
温泉事業特別会計	純利益	767万3042円

サンセットコイン事業特別会計
(全員賛成)

問 健康アプリ「まるけん」など町に還元される内容には、インセンティブポイント（利用促進のための付与ポイント）の引き上げを検討は。

答 それぞれの事業のポイントを引き上げたとしても対応ができるように予算措置はしていますので、更なる活用を図ります。

水道事業会計
(全員賛成)

問 配水管の布設替えは。

答 莫大なコストがかかります。まずは有事の際に断水になった場合、水を確保することを最優先に考え、水源から配水池までの送水管を強固なものにする計画です。その後、配水管の布設替えの優先順位を付けて計画していきます。

温泉事業会計
(全員賛成)

問 営業費用ですが、前年度比で910万円ほど増加しています。増額の理由は。

答 ランニングコストの増額が主な要因となっています。温泉施設のボイラーの燃料費と電気料、修繕費の増額によるものです。

監査委員からの意見書

令和6年度 監査委員意見書（抜粋）

監査委員 山地純正・磯 清彦

一般会計
国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
介護保険事業特別会計
サンセットコイン事業特別会計

審査結果

審査に付された各歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており誤りのないものと認められた。さらにその内容について担当課長（局長）などの説明を受け審査を実施した結果、内容も正当なものであった。

指導事項及び指摘事項

各課（局）共通

監査調書の作成にあたっては、記載誤りを防ぐために、監査調書の提出前に内容を十分に確認すること。また、記載された数字の根拠となる資料は用意しておくこと。

各課（局）別

産業振興課

サンセットコインの5%還元は、今後も継続するのか。ほかに必要な優先事業はないのか。財源も含めて、予算配分についても考える時期にきているのではないかと思料する。

教育委員会

市町対抗駅伝競走大会は、主要事業の成果説明書にも記載されているが、毎年参加選手の確保が困難になっている現状を踏まえると、来年



代表監査委員の報告

以降、町として参加しないことを含めて、協議することが必要と考えられるので検討を望む。

水道事業会計

水道は、住民の生活を支える重要な事業であり、その安定的な運営は当町の基幹産業である観光産業にとっても最重要要素の一つである。

6年度は、純利益は増となっているが、高齢化や少子化、人口の減少といった流れは進み、今後も利用者の継続的減少による収入減が懸念され、電気料金や資材の価格高騰により、経営環境は、年々厳しくなることが予想される。今後もさらなる経営の効率化や経費削減と共に施設の省エネ・老朽化対策や耐震計画を立て着実に対策を講じ、経営の安定化と安全な水の安定供給の維持を引き続きお願いしたい。

温泉事業会計

観光立町である当町にとって温泉は欠くことのできない資源である。年間給湯量は減少傾向にあり、今後も給湯需要の減少が予想される。このため、施設の維持管理を徹底させ長寿命化を図り、機械設備の省エネ化を推進し経費削減に努めるとともに、老朽化している温泉配湯施設の整備を計画的に実施し、安定的な配湯と持続的な事業運営を引き続きお願いしたい。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤主祐	土本直矢	中島健	磯清彦	河内ひとみ	山本豊	加藤タツ子	浅賀元希	仲田慶枝	高橋敬治	議決結果
第3回臨時会	木質バイオマス発電施設整備工事請負契約の締結[契約額3億6880万円で契約するもの]	×	×	○	○	×	×	○	×	○	—	否決
	社会資本整備総合交付金事業(町)月の浦井田子線拡幅工事請負契約の締結[契約額1億8810万円で契約するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	仁科地内町道整備工事請負契約の締結[契約額7865万円で契約するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	安里里漁港浚渫工事請負契約の締結[契約額1億1000万円で契約するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町一般会計補正予算(第2号) [3145万9千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
9月定例会	水道事業及び温泉事業の剰余金等の処分等に関する条例の制定[上位法令改正によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正 [システム改修にかかるマイナンバー利用のための改正]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	職員の勤務時間、休暇時間に関する条例の一部を改正 [関係法令改正によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正 [関係法令改正によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正 [鳥獣被害対策実地隊員の報酬を改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	木質バイオマス発電施設整備工事請負仮契約の解除に伴う損害賠償の額の決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	一般会計補正予算(第3号) [2億102万8千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) [6005万2千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [382万4千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和6年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度サンセットコイン事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和6年度温泉事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	観光地域づくり整備事業 黄金崎クリスタルパーク改修工事請負契約の締結 [契約額5720万円で契約するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	木質バイオマス発電事業に関する請願	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	みなし採択

議長(高橋敬治)は採決に加わりません。



つみ けい すけ
堤 圭 祐 議員

こども園建設の切土案は (町長) 推進できないが再考の可能性あり

質問 こども園建設候補地の切土調査結果は。また、町としての結論は。

町長 以前より町が提案していた以上の金額がかかるため、町としては進められません。ただし、議会と保護者代表が住民に説明し、多くの金額がかかってもやりたいという意思が固ければ、再考する可能性はあると考えます。

質問 町として保護者へ説明会を開催する予定はあるか。

町長 議会有志の要望で調査したため、町でなく議会から説明するべきと考えます。

小学校統合の進め方は

意見交換は予定している

質問 小学校統合の進め方は。意見交換会の予定は。

町長 遅くとも11年度までの統合にご理解いただきたいと考えます。今後も意見交換は予定していますが、保護者の意見だけで行政運営はできないと考えます。

観光地の授乳施設は

補助対象に移動式を検討

質問 観光地の授乳施設は、子育てインフラとして重要である。施設整備補助金はいまだに利用者がゼロだが改善点は。

健康福祉課長 補助対象や条件が実態に合っていないかもしれないので、見直しを検討します。また、移動式のレンタル授乳室を補助対象にすることも1つの手段と考えられます。

教育活動の周知は

町内外に積極的に発信

質問 特色のある数多くの教育活動や、手厚い子育て支援策が十分に周知されていないと感じるが、どのように情報発信していくか。

町長 移住相談会での活動を通じて、マッチングサービスを導入し、情報発信の強化を図ります。



賀茂小学校と仁科小学校の統合は

切土造成を実施しない場合の進め方は (町長) 安良里地区を出さざるを得ない



あさ か もと き 議員
浅賀元希

質問 認定こども園建設に伴う旧西伊豆中学校裏山切土調査の結果、造成費が7億7000万円とのことで私は、切土造成は反対だが町長はどのような考えか。

町長 以前から高額な費用がかかるので、現実的ではないとの考えを住民説明会でも伝えてきました。

質問 切土造成をこのまま突き進める訳には行かないとのことだが今後の進め方は。

町長 調査費の予算要求時に調査はしますが、多額な費用がかかる可能性があるものは無理ですよと伝えてあり、結果が出て議会の多数が多額の費用をかけてはだめだとなればもう一度安良里の中田避難地付近を出さざるを得ないと考えます。

中学校統合の進捗

具体的な進展はない

質問 中学校統合の西伊豆町、松崎町の議員への5月説明会後の進捗状況は。

教育長 今の段階では、お示しできる具体的な進展はありません。

質問 議員への説明会や事業を進めるために議員との関わりをどのように持つのか。

教育委員会事務局長 一定のことが決まった段階で報告させていただきます。反映できる意見は反映していくような形を取って行きたいと考えています。

常時分別回収の成果は

概ね好意的

質問 安良里地区で実験的に

実施している分別ゴミの常時回収の成果は。

町長 地域からも概ね好意的な意見を伺っています。

質問 この事業を各地区に広めて行くには、住民の理解が得られないと進められないとのことだったが、住民の理解とはどのようなことか。

町長 町からどうのこうのではなく、便利になる地区の方が地区内で話し合いを持ち、管理など町任せにせず、場所の指定や管理をしていただければ、可能性もあると考えています。



早く！津波を心配しない安全な場所へ（伊豆海認定こども園）



やまもと 山本 豊 議員

災害炊出しセンターの整備状況は (町長) 田子給食センターを地域で活用

質問 南海トラフ巨大地震は未曾有の災害となり、救援は大幅に遅延し、長期的な孤立状態で、避難生活を強いられる可能性がある。災害炊出しセンターの具体的な整備状況を伺う。

町長 田子給食センターは災害時に、自家発電や燃料、給食の食材の提供が可能と考えますが、給食の職員が被災している可能性があり、地域の方で活用していただきたいと考えています。

災害支援道路は

県に対策を要望

質問 海路、陸路の寸断を想定し、宮ヶ原ヘリポートを中継基地として、災害支援道路の耐震化、機能強化を図る必要があるが、進捗状況と今後の取り組みは。

町長 宮ヶ原地区が孤立する可能性が高く、町全体への波及効果は少ないと考えます。道路は県道であるため、引き続き県に対して、防災

対策や拡幅の要望をしています。

予防医学の普及推進は

専門家がない

質問 民間療法による予防医学の普及推進は、西伊豆産の食材を活用した健康増進事業で、町民の健康寿命延伸と医療費抑制に貢献する可能性があるが、取り組み状況と今後の展開は。

町長 町内で採れる梅やフキなどの食材が、健康寿命の延伸に役立つという事であれば、大変面白い提案だと

考えますが、その分野の専門家がいません。

質問 温泉熱利用の通年栽培は、持続可能な農業と西伊豆ブランドの開発が可能で、温泉キクラゲを、ホテルの食材やふるさと納税の返礼品としてはいかがか。

町長 是非、民間の方に頑張っていたきたいと考えます。

産業振興課長 健康をテーマにした産業の展開については、新たな観光需要の創出、地域活性化にも繋がり非常に有意義ですが、これからの検討課題と考えています。



宮ヶ原ヘリポートでの防災訓練

空き家リフォーム補助金制度は (町長) 住宅改修支援を行っています



加藤 かつこ 議員

質問 全国の空き家件数は増加していますが、西伊豆町の空き家のリフォーム補助金制度はどのようなになっているのか。

町長 町は木造住宅耐震化や空き家バンクに登録された物件の改修などの補助金制度を導入し住宅改修支援を行っています。

公共施設の再生事業は

宿泊施設や活動拠点へ

質問 公共施設を産前産後のケア施設や、カルチャーの交流拠点、またテレワークなどの使用場所に再生するなど。町へのUターン者支援としての取り組みは。

町長 公共施設の再生事業は廃校になった小学校をやまびこ荘として宿泊施設に、また旧田子中学校の2階を文化財の展示場所、3階を大学生などの宿泊場所として整備し、利用いただいています。また、旧賀茂幼稚園は、産業振興を目的

としてシーベジタブルさんが利用しています。民間施設の再生は、移住施策を担当する地域おこし協力隊員が相談会を随時開催し、空き家の有効活用を進めています。

重要施設の高台移転は

考えなければいけない

質問 地震津波における町の重要な施設を高台に移すことはどのように考えているのか。

町長 西伊豆町の重要な施設の移転に関しては考えな

ければいけないと認識しています。子供たちを預かる施設を高台に移すことを優先しています。

質問 津波警報発令時における即時避難の周知は。

町長 即、避難の周知の対応は大変重要です。津波が来る来ないに関わらず先ずは高台などへ避難していただき身の安全確保をお願いしています。



空き家バンクで購入した家



つちもと なおや
土本直矢 議員

サンセットコインの今後は (町長) 他社システムへ乗り換え、制度継続

質問 サンセットコインの今後の方針は。

町長 制度は継続しますが、現在のシステムから他社システムへの乗り換えを進めています。

現在のサンセットコインにチャージした金額は早めに使い切って、残高をゼロにして終えていただきたいです。

質問 サンセットコインの利用を活性化させるための改善方法は。

町長 住民の方に利便性が認知され利用していただいていることから、現状維持に努めたいと考えます。

災害時の医療体制確保は

検討すべきと考えます

質問 災害時の医療体制確保は、町内全域の医療介護従事者を交えた公式な協議を行ったことがあるか。

町長 以前から医療、福祉施設が津波浸水想定区域内に多くあるため、対策をどの

ようにした方が良いか検討すべきと考えています。

質問 医師、看護師、薬剤師、介護福祉士、歯科医師などの医療従事者を交えた協議会の設置は。

町長 今後、医療や福祉関係者、地区代表を交えた意見交換の場を設ける考えです。

バイオマス発電事業は

白紙撤回

質問 木質バイオマス発電事業は正式に中止か。

町長 国の制度、県の補助などが受けられない状態で、町

単独で事業を行うことはできません。議会で承認が得られなかったため、事業を継続することができなくなり、白紙撤回となりました。

質問 森林整備や林業復興は、林業関係者や有識者を交えた協議会への設置の考えはないか。

町長 協議会という形はとっていませんが、今までもご意見をいただける機会を作ってきました。今後も意見をいただける機会が必要と考えています。



交換が必要となる予定のサンセットコインカード

犯罪抑止力として街灯増設を (町長) 街灯の新設は区との調整が必要



なか じま 中 島 議員

質問 街灯が所々あるものの、非常に暗い道路が住宅街でも多く見受けられます。犯罪などの抑止力として、安心感の向上のため、街灯を増やせないか。

町長 町全体が明るくなれば、犯罪の抑止力となり、安心安全なまちづくりが可能になると考えます。街灯の新設には、区からの要望書が提出され区が新設するという事になっています。新設をするには区との調整が必要となります。

公衆トイレの照明は

状況に応じて必要な対策

質問 暗い時間に点灯せず、暗いまま用を足さなければいけない公衆トイレがある。時間によって点く照明ではなく、人感センサーライトまたはスイッチによる照明に変更できないか。特に薄暗い日に個室を利用する場合、真っ暗なところがある。

町長 清潔で明るい公衆トイ

レであるよう管理しています。近年は公衆トイレにかかる修繕費が増加傾向にあります。状況に応じて必要な対策は講じていきたいと考えます。

駆除したウニ活用効果は

飲食店などからは好評

質問 駆除したウニの活用は、資料配布、食材、試験提供と、前回の一般質問の際、回答を得ているが、その効果は現在どのようなものか。

町長 静岡県水産海洋技術研

究所伊豆分場に提供し、分布量や、サイズの推定を行っています。近隣飲食店、ホテル加工業者からは概ね好評です。

質問 海藻の養殖は、町内海域内に種の植え付け、基盤の設置など、磯焼け対策の検討はできないか。

町長 食害の著しい磯に対し、防除策なしでの種の植え付けについては、現段階では検討していません。また基盤の設置は、海藻養殖事業者と連携し、生産試験の成果を踏まえて検討していきます。



街灯を増設し、夜の町の災害・防災対策を



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

7月30日津波警報への対応 (町長) 避難指示を出すに至らなかった

質問 遠地津波は揺れを感じず危機感に乏しくなるので、7月30日の津波警報発令時に避難指示を出すべきだったが。

町長 干潮時と重なっていたので避難指示を出すには至らないと判断しました。海水浴場の閉鎖、水門扉は確実に閉めました。Jアラートが流れていて、町民は情報を入手できる状態でした。広域的な判断ではなく町での判断をしっかりと行う必要があると考え、本当に必要な時には率先して避難指示を出します。

質問 避難指示を出さなくても避難できる住民に育てることが必要だが。

町長 防災出前講座と本番を想定した訓練を繰り返しています。

個別避難計画の実効性は

時間確保ができれば有効

質問 個別避難計画の策定状況は。

町長 避難行動要支援者管理システムを導入し名簿を作成しました。現在、ケアマネジャーの協力を得ながら個別避難計画を作成中です。

質問 避難に時間の余裕があるときには個別避難計画は実効性があると考えますが。

町長 今回はそれを考えるきっかけになりました。避難時間の確保ができる場合には有効で、作るとあると考えます。個別の事象を考えながら進めていきます。

認定こども園の建設は

議会の判断を注視

質問 切土調査の結果を受け一日でも早くこども園を建設することは考えないか。

町長 高額な事業になりますので予算請求をした議会の判断を注視しています。

質問 人口減少に伴う施設集約と、町内全域からの移動時間を考え、人口が多い仁科地区に子育て支援機能を集約させるべきと考えるが。

町長 各地域が賑わい、元気に過ごしていただくためには、集約していいものとそうでないものがあります。妥協点を見出すことが必要だと考えます。



7月30日外国人観光客も避難した仁科浜の避難施設

平和認識を高める具体的な取り組みは (教育長) 戦争体験の紙芝居などで学んでいます



かわうち 河内 ひとみ 議員

質問 地域の歴史を生かし、白川地区で起きた中国人強制連行による悲劇を次世代の若者に継承し、平和認識を高めていく必要があると考える。今後の具体的な取り組みは。

教育長 小学校6年生の社会科の授業で、NPO法人みんなの家の方からお年寄りの体験をもとにした紙芝居などで、戦争の悲惨さや平和のありがたさを学びます。

質問 中国人殉難者慰霊祭を町と区の共同開催は。

町長 行事は区が主催でございますので区の方と協議の上で、現状に至ります。

質問 白川地区の中国人殉難者慰霊碑を平和観光拠点に。

教育長 中国人の捕虜を日本軍がジュネーブ条約に違反して虐待したという事実です。それを観光の町西伊豆町としてアピールするのは、好ましいとは思いません。

防災出前講座の夜間開催は

受講できる対策を検討

質問 警戒レベル時に応じた町の避難対策は。

町長 災害対策本部を直ちに立ち上げ、各支部の設置とあわせて、水門や門扉などの閉鎖の確認を行いました。

質問 防災出前講座の夜間、土日開催は。

町長 1人でも多くの方が受講していただけるような対策は、今後行っていきたいと考えます。

ヘルパー必要見込み数は

現状人数で対応は可能

質問 ヘルパーの必要数の見込み数は。

町長 ヘルパー人数の推移は、7年4月現在で27人、8月現在で15人です。7年度及び8年度利用者数は155人でピークを迎え、22年度には132人に減少する見込みです。従って現在のヘルパー人数が確保できていれば、対応は可能であると考えます。



白川地区にある中国人殉難者慰霊碑

議会の動き

令和6年度町内工事箇所の現地視察研修

6月12日、第1常任委員会、第2常任委員会合同で、監査委員と共に以下の現場を含め9カ所の工事現場の視察を実施しました。

学校線改良工事

工期：6年6月6日～6年9月30日

金額：16,830,000円

雨天時のバス乗り場から学校への道路を舗装、排水路も整備され、学校へ通う子どもたちの靴が濡れたり汚れたりする心配が解消されました。



月原残土処理場進入路整備工事

工期：6年7月2日～7年3月25日

金額：31,592,000円

月原残土処理場の進入路が整備されました。埋立て部の水路工にボックスカルバートが布設されました。



黄金崎公園芝生広場公衆トイレ解体及び新築工事

工期：6年9月14日～7年3月26日

金額：56,650,000円

観光地域づくり整備事業により黄金崎芝生広場に使いやすい公衆トイレが新築されました。



安良里地区シャロン跡地整備工事

工期：6年10月31日～7年2月14日

金額：5,907,000円

安良里地区シャロン跡地にリサイクル用分別倉庫が設置されました。隣接して、雨天でも子どもたちに安心安全なバス待合所が新設されました。



木質バイオマス発電事業に関する請願書「みなし採択」

木質バイオマス発電事業に関し、後段記載の請願書が、7月10日に500名超の署名簿とともに町民の代表の方と複数の紹介議員で議長に提出されました。議長の付託を受け議会運営委員会で取扱いについて協議した結果、「みなし採択」となりました。

【理由】

7月の臨時議会に提出された、木質バイオマス発電施設整備工事請負仮契約の締結が否決となり、それを受け9月定例会で、木質バイオマス発電施設整備工事請負仮契約の解除に伴う損害賠償の額の決定について議案の提出があり、可決されたことから木質バイオマス発電事業が中止となったためです。

【請願趣旨】

木質バイオマス発電事業は、7年度一般会計予算として3億7568万8千円が議会で可決されました。しかし、説明会を開催した柴地区や仁科地区に加え、その他の西伊豆町民も木質バイ

オマス発電事業の運営方法に大きな疑念を抱いておることから木質バイオマス発電事業の中止を求める。ただし、森林事業の推進及び資源化のため別途協議してほしい。

【主な請願理由概要】

1. 住民への説明が不十分

さまざまな住民の質問に対する真摯な回答が得られていない。

2. 騒音、粉塵、臭いに関する懸念

周辺住民は公害を懸念しており、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼし、健康や生活の質を損なう恐れがある。

3. 赤字への懸念

年間収支が黒字になるとのことだが、修理費の増加に伴い赤字になる可能性がある。

4. 間伐材の確保

発電に必要なC材を町内の間伐材で賄えず、不足分を町外から購入することは、町の森林事業に貢献できない。など6つの理由です。

静岡県市町議会議員研修について

7月11日に静岡市の「グランシップ」で、静岡県市町議会議員研修会が開催されました。

「A I、自動運転、医療D X、現代の先端テクノロジーは、産業や社会をどう変えていくか」と題し作家/ジャーナリストの佐々木俊尚氏にご講演をいただきました。『この10年間進化してきたA I』例えば「物流センターなどでトラックが回ってゆく配送ルート。A Iを使うと瞬時に複雑な巡回ルートの無駄が解消される。」と佐々木氏はディープラーニング（深層学習）のお話をされました。

他にも医療D X、病院のA I 電話応答、産業D X、先端医療の分野でも産院や医者不足等の解消にA Iテクノロジーの技術が多く課題や問題点を解決するとのことでした。

新たな価値または道筋を示す光になって西伊豆町の発展のためにも役立ってほしいです。なかなか、難しいお話しではありましたが今の社会を反映している思いがしました。

第2常任委員長 加藤タツ子



これからのA Iを学ぶ

ことぶき 公園

寿公園は、安良里不動尊の下側に位置し、50年ほど前に子孫の心身の育成を願い、老若男女誰でもが訪れ、憩いの場となるよう整備されました。公園内には、池があり鯉も優雅に泳いでいます。

池に行くには、真っ赤な欄干の「ことぶきばし」を渡ります。森の中にある真っ赤な橋は、木々や植物で緑色に覆われています。



藤井 恵 氏

元小学校校長
現安良里喜楽会
連合会長

空間にひときわ存在感を出し神々しくもあり何とも鮮やかで、とても華やかな風情があります。この公園は、地元喜楽会員の大変な苦勞により、存続されています。喜楽会の役員は、2人1組で順番により、1週間に2回ほど、鯉の餌くれを行っております。赤い橋の華やかさと相反し、大きな問題も抱えています。それは、どこの地区でも同じだと思いますが、会員の高齢化により、昔は毎日行っていました鯉の世話も前記のとおりとなり、今後はますます大変な状況となりますので、いつまで存続できるかということです。是非、訪れてみてはいかがでしょうか。

はま せ が き 浜施餓鬼



藤井 晴正 氏

元大型漁船船頭
現浜川東区長

どの地区でもお盆にはご先祖様をお迎えし、供物や料理を仏壇にお供えして供養していると思います。安良里では、海からの恵みにより栄えた歴史があり、海で働くことも多く、運悪く遭難された方も少なからずいました。そんな方々の飢餓や



喉の渇きを癒してもらうため、盂蘭盆の最終日15日にお供え物やお経を御上げする「浜施餓鬼」を行っています。送り火やお経が終わると「餓鬼船」という小さな船にお供え物を乗せ富士山と雲見の御嶽さんの見える海上に「ついよ〜っ」の掛け声と共に届ける儀式を行っています。また、過去に安良里の港でイルカ漁が行われ、安良里の里を潤してくれたイルカにも感謝してイルカの供養も行っています。なお安良里にはイルカの供養塔も建立されています。



令和7年10月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962